

統計を読み取る力をつけていこう!



1 統計を取り巻く背景

ビッグデータ時代、多くの組織で、データから傾向を把握し、それに基づいて意思決定が行われています。

これからの社会を生きる小・中学生にとってこのような知識や技能をつけておくことは必須です。

2 学習指導要領の統計領域の拡充

算数・数学における統計領域が約30年振りに拡充されました。

統計データを用いた実践的授業の推進が図られています。次期学習指導要領でも統計的な内容の改善が図られました。

3 全国学力・学習状況調査

国語では、必要な事柄を整理し、事象や意見などを関係付けて書く、情報を正しく読み取って書くといった問題が出題されています。

算数・数学では、必要な数量を読み取る、理由を言葉や数式を使って表現する、説明するといった問題が出題されています。(裏面に例題がありますので、ご覧ください。)

4 統計グラフコンクール

夏休みに、自分の好きなことや興味のあることを統計グラフにまとめて、統計グラフコンクールに応募してみませんか? 統計に親しみ学ぶことにより、統計を読み取る力を身につけましょう!

詳しくは、『統計センターしずおか』をご覧ください。



QRコードはこちら!!



グラフ博士をクリック!!



<平成28年度 優秀作品>

全国学力・学習状況調査の出題例

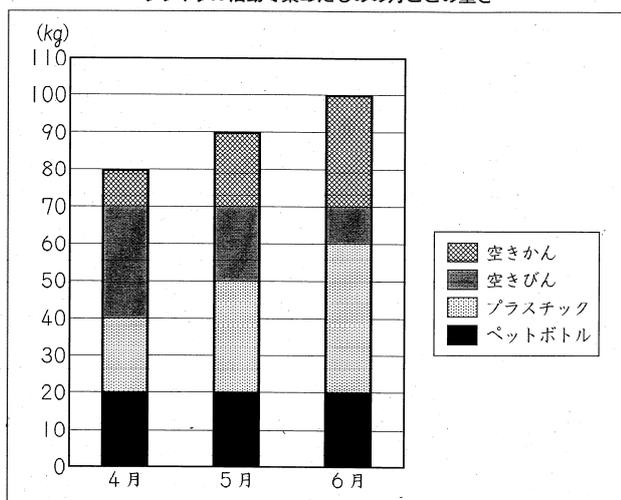
平成21年度 小学6年生算数B (統計に関する問題を一部抜粋)

(総務省統計局 HP <http://www.stat.go.jp/teacher/> から)

あかねさんの学校では、リサイクル活動を行っています。

あかねさんたちは、4月、5月、6月のリサイクル活動で集めたものの重さを、下のよう²にグラフにまとめました。

リサイクル活動で集めたものの月ごとの重さ



(1) 4月に集めたペットボトルの重さは、約何kgですか。答えを書きましよう。

(2) グラフを見ると、4月から6月までの、それぞれの月に集めた空きびんの重さの変化について、どのようなことがわかりますか。

下の **1** から **3** までの中から正しいものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 空きびんの重さは、だんだん減っている。
- 2 空きびんの重さは、変化していない。
- 3 空きびんの重さは、だんだん増えている。

(3) 4月の全体の重さをもとにしたペットボトルの重さの割合と、6月の全体の重さをもとにしたペットボトルの重さの割合を比べると、どのようなことが言えますか。

下の **1** から **3** までの中から正しいものを1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や式を使って書きましよう。

- 1 ペットボトルの重さの割合は、4月のほうが大きい。
- 2 ペットボトルの重さの割合は、4月と6月で同じ。
- 3 ペットボトルの重さの割合は、6月のほうが大きい。

1 出題の趣旨

示されたグラフの特徴を理解し、次のことができるかどうかをみる。

- ・グラフから必要な数量を読み取ること。
- ・グラフの特徴を基に、数量の変化の様子をとらえること。
- ・割合の大小を判断し、その理由を数学的に表現すること。

リサイクル活動に関連して、集めたものの重さを積み上げて全体の重さを表したグラフが与えられている場面である。

この問題を解決するためには、グラフの特徴を理解して、必要な数量を読み取ったり、数量の変化の様子をとらえたりすることが必要である。また、基準量と比較量の両方の大小に着目して、割合の大小を判断し、その理由を言葉や式を使って表現することが必要である。